

交付図書の訂正について

令和4年12月23日付けで入札公告を行った「東北中央自動車道 天童南スマートＩＣ工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、訂正した交付図書は、競争参加資格申請者に送付致します。

令和5年2月8日

契約責任者

東日本高速道路株式会社

東北支社長 田仲 博幸

【訂正内容】

- ・ 特記仕様書
- ・ 設計図（土工）

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください。

東 北 中 央 自 動 車 道
天 童 南 ス マ ー ト I C 工 事
交 付 図 書 正 誤 表

令和 5 年 2 月

東日本高速道路株式会社 東北支社
山 形 管 理 事 務 所

対象	誤	正	備考																																				
特記仕様書 26-4 構造物掘削及び構造物裏込め工 26-4-1 定義	2 6－3－4 支払 共通仕様書 2－7－8「支払」に下記を追加する。 <table><thead><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr></thead><tbody><tr><td>2－(5) 盛土工</td><td></td></tr><tr><td>盛土工 A 1</td><td>m³</td></tr><tr><td>盛土工 A 2</td><td>m³</td></tr><tr><td>盛土工 A 3</td><td>m³</td></tr></tbody></table> 2 6－4 構造物掘削及び構造物裏込め工 2 6－4－1 定義 (1) 共通仕様書 2－8－1「定義」に規定する構造物掘削の作業内容及び単価表の項目の区分は次のとおりとする。 <table><thead><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>構造物掘削 普通部</td><td>1) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 2) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 3) 含水量の調節、水替 ※土質区分：土砂 B 相当</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A</td><td>C-Bx STA. 187+29. 640施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 B</td><td>C-Bx STA. 190+40. 000施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当</td></tr></tbody></table>	単価表の項目	検測の単位	2－(5) 盛土工		盛土工 A 1	m ³	盛土工 A 2	m ³	盛土工 A 3	m ³	単価表の項目	作業内容	構造物掘削 普通部	1) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 2) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 3) 含水量の調節、水替 ※土質区分：土砂 B 相当	構造物掘削 特殊部 A	C-Bx STA. 187+29. 640施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当	構造物掘削 特殊部 B	C-Bx STA. 190+40. 000施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当	2 6－3－4 支払 共通仕様書 2－7－8「支払」に下記を追加する。 <table><thead><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr></thead><tbody><tr><td>2－(5) 盛土工</td><td></td></tr><tr><td>盛土工 A 1</td><td>m³</td></tr><tr><td>盛土工 A 2</td><td>m³</td></tr><tr><td>盛土工 A 3</td><td>m³</td></tr></tbody></table> 2 6－4 構造物掘削及び構造物裏込め工 2 6－4－1 定義 (1) 共通仕様書 2－8－1「定義」に規定する構造物掘削の作業内容及び単価表の項目の区分は次のとおりとする。 <table><thead><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>構造物掘削 普通部</td><td>1) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 2) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 3) 含水量の調節、水替 ※土質区分：土砂 B 相当</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A</td><td>C-Bx STA. 187+29. 640施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 横矢板の設置 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 横矢板の撤去、電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、 撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 B</td><td>C-Bx STA. 190+40. 000施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 横矢板の設置 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 横矢板の撤去、電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、 撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当</td></tr></tbody></table>	単価表の項目	検測の単位	2－(5) 盛土工		盛土工 A 1	m ³	盛土工 A 2	m ³	盛土工 A 3	m ³	単価表の項目	作業内容	構造物掘削 普通部	1) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 2) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 3) 含水量の調節、水替 ※土質区分：土砂 B 相当	構造物掘削 特殊部 A	C-Bx STA. 187+29. 640施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 横矢板の設置 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 横矢板の撤去 、電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、 撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当	構造物掘削 特殊部 B	C-Bx STA. 190+40. 000施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 横矢板の設置 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 横矢板の撤去 、電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、 撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当	訂正
単価表の項目	検測の単位																																						
2－(5) 盛土工																																							
盛土工 A 1	m ³																																						
盛土工 A 2	m ³																																						
盛土工 A 3	m ³																																						
単価表の項目	作業内容																																						
構造物掘削 普通部	1) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 2) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 3) 含水量の調節、水替 ※土質区分：土砂 B 相当																																						
構造物掘削 特殊部 A	C-Bx STA. 187+29. 640施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当																																						
構造物掘削 特殊部 B	C-Bx STA. 190+40. 000施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当																																						
単価表の項目	検測の単位																																						
2－(5) 盛土工																																							
盛土工 A 1	m ³																																						
盛土工 A 2	m ³																																						
盛土工 A 3	m ³																																						
単価表の項目	作業内容																																						
構造物掘削 普通部	1) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 2) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 3) 含水量の調節、水替 ※土質区分：土砂 B 相当																																						
構造物掘削 特殊部 A	C-Bx STA. 187+29. 640施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 横矢板の設置 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 横矢板の撤去 、電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、 撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当																																						
構造物掘削 特殊部 B	C-Bx STA. 190+40. 000施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによる H 形鋼の打込み 横矢板の設置 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 横矢板の撤去 、電動式バイプロハンマによる H 形鋼の引き抜き、 撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂 B 相当																																						

対象	誤	正	備考																																																												
特記仕様書 26-4 構造物掘削及び構造物裏込め工 26-4-1 定義	<table><tr><td>構造物掘削 特殊部C</td><td>C-Bx STA. 191+95. 350施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによるH形鋼の打込み 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 電動式バイプロハンマによるH形鋼の引き抜き、撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂B相当</td></tr></table> (2) 共通仕様書2-8-1「定義」に規定する構造物裏込め工の作業内容及び単価表の項目の区分は次のとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr><tr><td>構造物裏込め工 裏込め工B</td><td>本特記仕様書4-1に示す購入材（土砂）を使用し、構造物裏込め工Bを施工するもの。 1) 構造物裏込め工の敷均し、締固め 2) 含水量の調節 ※土質区分：土砂B相当</td></tr></table> 26-4-2 材料 構造物掘削 特殊部に用いる仮設材は、下表のとおりとする。 受注者の都合で、設置期間が変更になった場合については設計変更の対象としない。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>材料規格等</th><th>材料区分</th><th>調達地域</th><th>設置期間</th><th>摘要</th></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部A</td><td>H形鋼 鋼矢板Ⅲ型</td><td>リース品 全損</td><td>山形県</td><td>3カ月 存置</td><td></td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部B</td><td>H形鋼 鋼矢板Ⅲ型</td><td>リース品 全損</td><td>山形県</td><td>4カ月 存置</td><td></td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部C</td><td>H形鋼 鋼矢板Ⅲ型</td><td>リース品 全損</td><td>山形県</td><td>2カ月 存置</td><td></td></tr></table> 26-4-3 施工 (1) 構造物掘削において、地質状況や湧水等により掘削のり面に崩壊の危険が生じ、掘削が困難になった場合には監督員に報告し、受注者はその指示に従うものとする。なお、これに要する費用については監督員と受注者で協議し定めるものとする。 (2) 掘削中に予期しない転石等に遭遇した場合は、その処置方法について監督員と協議するものとし、監督員が工法の変更を指示した場合はそれに従うものとし、それに要する費用については監督員と受注者で協議して定めるものとする。 (3) 構造物の基礎部分の掘削により発生した土砂で下部路体部・上部路体部を施工する場合は、本特記仕様書26-2-2「施工」のとおりとする。 (4) 構造物掘削 特殊部における鋼矢板の撤去にあたっては、本特記仕様書15「残存物件に関する事項」に基づき適切に行うものとする。	構造物掘削 特殊部C	C-Bx STA. 191+95. 350施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによるH形鋼の打込み 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 電動式バイプロハンマによるH形鋼の引き抜き、撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂B相当	単価表の項目	作業内容	構造物裏込め工 裏込め工B	本特記仕様書4-1に示す購入材（土砂）を使用し、構造物裏込め工Bを施工するもの。 1) 構造物裏込め工の敷均し、締固め 2) 含水量の調節 ※土質区分：土砂B相当	単価表の項目	材料規格等	材料区分	調達地域	設置期間	摘要	構造物掘削 特殊部A	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	3カ月 存置		構造物掘削 特殊部B	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	4カ月 存置		構造物掘削 特殊部C	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	2カ月 存置		<table><tr><td>構造物掘削 特殊部C</td><td>C-Bx STA. 191+95. 350施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによるH形鋼の打込み、横矢板の設置 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 横矢板の撤去、電動式バイプロハンマによるH形鋼の引き抜き、 撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂B相当</td></tr></table> (2) 共通仕様書2-8-1「定義」に規定する構造物裏込め工の作業内容及び単価表の項目の区分は次のとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr><tr><td>構造物裏込め工 裏込め工B</td><td>本特記仕様書4-1に示す購入材（土砂）を使用し、構造物裏込め工Bを施工するもの。 1) 構造物裏込め工の敷均し、締固め 2) 含水量の調節 ※土質区分：土砂B相当</td></tr></table> 26-4-2 材料 構造物掘削 特殊部に用いる仮設材は、下表のとおりとする。 受注者の都合で、設置期間が変更になった場合については設計変更の対象としない。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>材料規格等</th><th>材料区分</th><th>調達地域</th><th>設置期間</th><th>摘要</th></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部A</td><td>H形鋼 鋼矢板Ⅲ型</td><td>リース品 全損</td><td>山形県</td><td>3カ月 存置</td><td></td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部B</td><td>H形鋼 鋼矢板Ⅲ型</td><td>リース品 全損</td><td>山形県</td><td>4カ月 存置</td><td></td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部C</td><td>H形鋼 鋼矢板Ⅲ型</td><td>リース品 全損</td><td>山形県</td><td>2カ月 存置</td><td></td></tr></table> 26-4-3 施工 (1) 構造物掘削において、地質状況や湧水等により掘削のり面に崩壊の危険が生じ、掘削が困難になった場合には監督員に報告し、受注者はその指示に従うものとする。なお、これに要する費用については監督員と受注者で協議し定めるものとする。 (2) 掘削中に予期しない転石等に遭遇した場合は、その処置方法について監督員と協議するものとし、監督員が工法の変更を指示した場合はそれに従うものとし、それに要する費用については監督員と受注者で協議して定めるものとする。 (3) 構造物の基礎部分の掘削により発生した土砂で下部路体部・上部路体部を施工する場合は、本特記仕様書26-2-2「施工」のとおりとする。	構造物掘削 特殊部C	C-Bx STA. 191+95. 350施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによるH形鋼の打込み、 横矢板の設置 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 横矢板の撤去 、電動式バイプロハンマによるH形鋼の引き抜き、 撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂B相当	単価表の項目	作業内容	構造物裏込め工 裏込め工B	本特記仕様書4-1に示す購入材（土砂）を使用し、構造物裏込め工Bを施工するもの。 1) 構造物裏込め工の敷均し、締固め 2) 含水量の調節 ※土質区分：土砂B相当	単価表の項目	材料規格等	材料区分	調達地域	設置期間	摘要	構造物掘削 特殊部A	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	3カ月 存置		構造物掘削 特殊部B	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	4カ月 存置		構造物掘削 特殊部C	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	2カ月 存置		訂正
構造物掘削 特殊部C	C-Bx STA. 191+95. 350施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによるH形鋼の打込み 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 電動式バイプロハンマによるH形鋼の引き抜き、撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂B相当																																																														
単価表の項目	作業内容																																																														
構造物裏込め工 裏込め工B	本特記仕様書4-1に示す購入材（土砂）を使用し、構造物裏込め工Bを施工するもの。 1) 構造物裏込め工の敷均し、締固め 2) 含水量の調節 ※土質区分：土砂B相当																																																														
単価表の項目	材料規格等	材料区分	調達地域	設置期間	摘要																																																										
構造物掘削 特殊部A	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	3カ月 存置																																																											
構造物掘削 特殊部B	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	4カ月 存置																																																											
構造物掘削 特殊部C	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	2カ月 存置																																																											
構造物掘削 特殊部C	C-Bx STA. 191+95. 350施工箇所での作業 1) 油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 2) 電動式バイプロハンマによるH形鋼の打込み、 横矢板の設置 3) 構造物の基礎部分の土砂の掘削、積込 4) 下部路体部、上部路体部、構造物埋戻し部への運搬、敷均し、 締固め、整形および仕上げ 5) 含水量の調節、水替 6) 横矢板の撤去 、電動式バイプロハンマによるH形鋼の引き抜き、 撤去 7) 鋼矢板の切断、撤去 ※土質区分：土砂B相当																																																														
単価表の項目	作業内容																																																														
構造物裏込め工 裏込め工B	本特記仕様書4-1に示す購入材（土砂）を使用し、構造物裏込め工Bを施工するもの。 1) 構造物裏込め工の敷均し、締固め 2) 含水量の調節 ※土質区分：土砂B相当																																																														
単価表の項目	材料規格等	材料区分	調達地域	設置期間	摘要																																																										
構造物掘削 特殊部A	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	3カ月 存置																																																											
構造物掘削 特殊部B	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	4カ月 存置																																																											
構造物掘削 特殊部C	H形鋼 鋼矢板Ⅲ型	リース品 全損	山形県	2カ月 存置																																																											

対象	誤	正	備考																																																																																										
特記仕様書 26-15 油水分離ます 26-15-3 材料及び施工 26-15-5 支払			訂正																																																																																										
	2 6－1 5 油水分離ます 2 6－1 5－1 定義 油水分離ますとは、設計図書及び監督員の指示に従って工場製プレキャスト油水分離ますを設置することをいう。 2 5－1 5－2 種別 油水分離ますの種別は次のとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>図面の表示</th></tr><tr><td>油水分離ます A</td><td>のり面部に設置するもの</td><td>油水分離ます A</td></tr><tr><td>油水分離ます B</td><td>平地部に設置するもの</td><td>油水分離ます B</td></tr><tr><td>油水分離ます C</td><td>接続排水P (Po-B), Dv-Bf マンホールサイズφ1200</td><td>油水分離ます C</td></tr><tr><td>油水分離ます D</td><td>接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1200</td><td>油水分離ます D</td></tr><tr><td>油水分離ます E</td><td>接続排水Dv-Bf, Dv-Bf マンホールサイズφ1200</td><td>油水分離ます E</td></tr><tr><td>油水分離ます F</td><td>接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1800</td><td>油水分離ます F</td></tr></table> 2 6－1 5－3 材料及び施工 油水分離ますの材料及び施工は、共通仕様書 5－4 「用排水構造物工」の規定によるものとする。 2 6－1 5－4 数量の検測 油水分離ますの数量の検測は、設計数量（箇所）で行うものとする。 2 6－1 5－5 支払 油水分離ますの支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う掘削、基礎の施工、油水分離ますの据付、接合部の施工、埋戻し、締固め等油水分離ますの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。 <table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特－（2）</td><td>油水分離ます</td><td></td></tr><tr><td></td><td>A</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>B</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>D</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>E</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>F</td><td>箇所</td></tr></table>	単価表の項目	区分内容	図面の表示	油水分離ます A	のり面部に設置するもの	油水分離ます A	油水分離ます B	平地部に設置するもの	油水分離ます B	油水分離ます C	接続排水P (Po-B), Dv-Bf マンホールサイズφ1200	油水分離ます C	油水分離ます D	接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1200	油水分離ます D	油水分離ます E	接続排水Dv-Bf, Dv-Bf マンホールサイズφ1200	油水分離ます E	油水分離ます F	接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1800	油水分離ます F		単価表の項目	検測の単位	特－（2）	油水分離ます			A	箇所		B	箇所		C	箇所		D	箇所		E	箇所		F	箇所	2 6－1 5 油水分離ます 2 6－1 5－1 定義 油水分離ますとは、設計図書及び監督員の指示に従って工場製プレキャスト油水分離ますを設置することをいう。 2 5－1 5－2 種別 油水分離ますの種別は次のとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>図面の表示</th></tr><tr><td>油水分離ます A</td><td>のり面部に設置するもの</td><td>油水分離ます A</td></tr><tr><td>油水分離ます B</td><td>平地部に設置するもの</td><td>油水分離ます B</td></tr><tr><td>油水分離ます C</td><td>接続排水P (Po-B), Dv-Bf マンホールサイズφ1200</td><td>油水分離ます C</td></tr><tr><td>油水分離ます D</td><td>接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1200</td><td>油水分離ます D</td></tr><tr><td>油水分離ます E</td><td>接続排水Dv-Bf, Dv-Bf マンホールサイズφ1200</td><td>油水分離ます E</td></tr><tr><td>油水分離ます F</td><td>接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1800</td><td>油水分離ます F</td></tr></table> 2 6－1 5－3 材料及び施工 油水分離ますの材料及び施工は、共通仕様書 5－4 「用排水構造物工」の規定によるものとする。 また、油水分離ますの施工にあたり、残土処理に係る作業については別途監督員と受注者とで協議して定めるものとする。 2 6－1 5－4 数量の検測 油水分離ますの数量の検測は、設計数量（箇所）で行うものとする。 2 6－1 5－5 支払 油水分離ますの支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う掘削、足場工、基礎の施工、油水分離ますの据付、接合部の施工、埋戻し、締固め等油水分離ますの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。 <table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特－（2）</td><td>油水分離ます</td><td></td></tr><tr><td></td><td>A</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>B</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>D</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>E</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>F</td><td>箇所</td></tr></table>	単価表の項目	区分内容	図面の表示	油水分離ます A	のり面部に設置するもの	油水分離ます A	油水分離ます B	平地部に設置するもの	油水分離ます B	油水分離ます C	接続排水P (Po-B), Dv-Bf マンホールサイズφ1200	油水分離ます C	油水分離ます D	接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1200	油水分離ます D	油水分離ます E	接続排水Dv-Bf, Dv-Bf マンホールサイズφ1200	油水分離ます E	油水分離ます F	接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1800	油水分離ます F		単価表の項目	検測の単位	特－（2）	油水分離ます			A	箇所		B	箇所		C	箇所		D	箇所		E	箇所		F	箇所	
単価表の項目	区分内容	図面の表示																																																																																											
油水分離ます A	のり面部に設置するもの	油水分離ます A																																																																																											
油水分離ます B	平地部に設置するもの	油水分離ます B																																																																																											
油水分離ます C	接続排水P (Po-B), Dv-Bf マンホールサイズφ1200	油水分離ます C																																																																																											
油水分離ます D	接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1200	油水分離ます D																																																																																											
油水分離ます E	接続排水Dv-Bf, Dv-Bf マンホールサイズφ1200	油水分離ます E																																																																																											
油水分離ます F	接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1800	油水分離ます F																																																																																											
	単価表の項目	検測の単位																																																																																											
特－（2）	油水分離ます																																																																																												
	A	箇所																																																																																											
	B	箇所																																																																																											
	C	箇所																																																																																											
	D	箇所																																																																																											
	E	箇所																																																																																											
	F	箇所																																																																																											
単価表の項目	区分内容	図面の表示																																																																																											
油水分離ます A	のり面部に設置するもの	油水分離ます A																																																																																											
油水分離ます B	平地部に設置するもの	油水分離ます B																																																																																											
油水分離ます C	接続排水P (Po-B), Dv-Bf マンホールサイズφ1200	油水分離ます C																																																																																											
油水分離ます D	接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1200	油水分離ます D																																																																																											
油水分離ます E	接続排水Dv-Bf, Dv-Bf マンホールサイズφ1200	油水分離ます E																																																																																											
油水分離ます F	接続排水P (Po-B), P (Po-B) マンホールサイズφ1800	油水分離ます F																																																																																											
	単価表の項目	検測の単位																																																																																											
特－（2）	油水分離ます																																																																																												
	A	箇所																																																																																											
	B	箇所																																																																																											
	C	箇所																																																																																											
	D	箇所																																																																																											
	E	箇所																																																																																											
	F	箇所																																																																																											
	34	34																																																																																											

対象

特記仕様書
26-16 補強盛土工
26-16-7 支払

誤

2 6－1 6－7 支払

補強盛土工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m²当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う壁面材及び補強材の組立、設置、排水材の設置等補強盛土工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
特－（3） 補強盛土工	
A	m ²
B	m ²
C	m ²
D	m ²

2 6－1 7 補強土壁工

2 6－1 7－1 定義

補強土壁工とは、設計図書及び監督員の指示に従って盛土内へ帯状の鋼製補強材を層状に敷設することで安定した盛土を構築するために壁面材及び補強材等を施工するものをいう。

2 6－1 7－2 適用すべき諸基準

「補強土（テールアルメ）壁工法の設計・施工マニュアル（平成2 6 年 8 月 一般財団法人 土木研究センター）」

2 6－1 7－3 種別

補強土壁工の種別は次のとおりとする。

単価表の項目	区分内容
補強土壁工 A	C-Bx STA. 187+29. 640施工箇所においてテールアルメ工法の補強土壁を施工するもの
補強土壁工 B	C-Bx STA. 190+40. 000施工箇所においてテールアルメ工法の補強土壁を施工するもの

2 6－1 7－4 材料

補強土壁工に使用する材料は、設計図書及び監督員の指示によるほか、適用すべき諸基準の規定によるものとする。

補強土壁工に使用する盛土材料は、本特記仕様書4－1「対象となる資材等」に示す購入材（土砂）を利用するものとする。また、施工に先立ち土質試験を実施し、盛土材料としての適用について確認を行い、監督員へ報告するものとする。なお、土質試験に要する費用は諸経費に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。ただし、材料が盛土材料として適用できなかった場合は、別途監督員の指示に従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

単価表の項目	盛土材土質条件
補強土壁工	内部摩擦角 $\phi = 30^{\circ}$
A	単位体積重量 $\gamma = 19\text{kN/m}^3$
B	粘着力 $C = 0\text{kN/m}^2$

正

2 6－1 6－7 支払

補強盛土工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m²当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う壁面材及び補強材の組立、設置、**切断**、排水材の設置等補強盛土工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
特－（3） 補強盛土工	
A	m ²
B	m ²
C	m ²
D	m ²

2 6－1 7 補強土壁工

2 6－1 7－1 定義

補強土壁工とは、設計図書及び監督員の指示に従って盛土内へ帯状の鋼製補強材を層状に敷設することで安定した盛土を構築するために壁面材及び補強材等を施工するものをいう。

2 6－1 7－2 適用すべき諸基準

「補強土（テールアルメ）壁工法の設計・施工マニュアル（平成2 6 年 8 月 一般財団法人 土木研究センター）」

2 6－1 7－3 種別

補強土壁工の種別は次のとおりとする。

単価表の項目	区分内容
補強土壁工 A	C-Bx STA. 187+29. 640施工箇所においてテールアルメ工法の補強土壁を施工するもの
補強土壁工 B	C-Bx STA. 190+40. 000施工箇所においてテールアルメ工法の補強土壁を施工するもの

2 6－1 7－4 材料

補強土壁工に使用する材料は、設計図書及び監督員の指示によるほか、適用すべき諸基準の規定によるものとする。

補強土壁工に使用する盛土材料は、本特記仕様書4－1「対象となる資材等」に示す購入材（土砂）を利用するものとする。また、施工に先立ち土質試験を実施し、盛土材料としての適用について確認を行い、監督員へ報告するものとする。なお、土質試験に要する費用は諸経費に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。ただし、材料が盛土材料として適用できなかった場合は、別途監督員の指示に従うものとし、これに要する費用については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

単価表の項目	盛土材土質条件
補強土壁工	内部摩擦角 $\phi = 30^{\circ}$
A	単位体積重量 $\gamma = 19\text{kN/m}^3$
B	粘着力 $C = 0\text{kN/m}^2$

備考

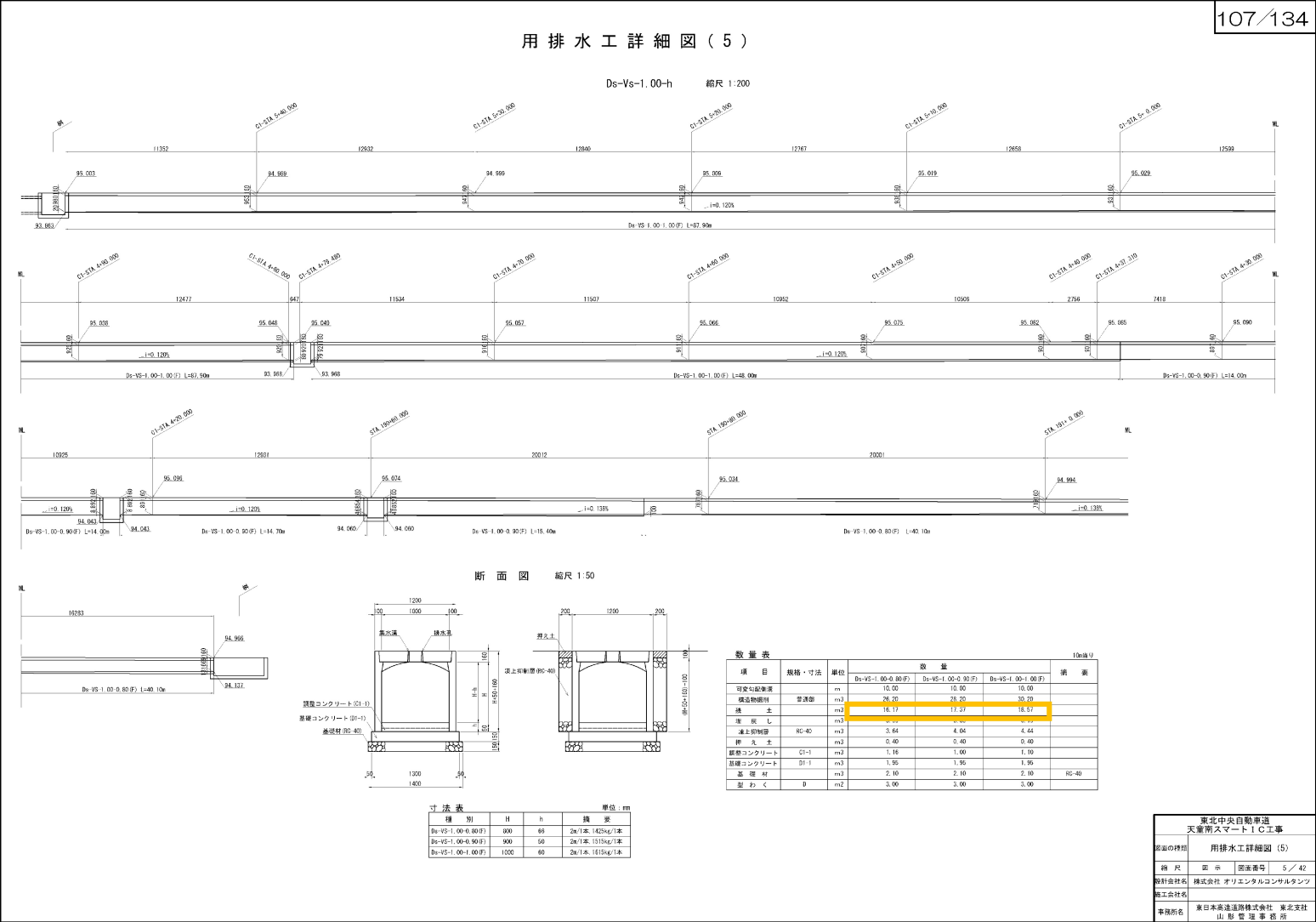
訂正

36

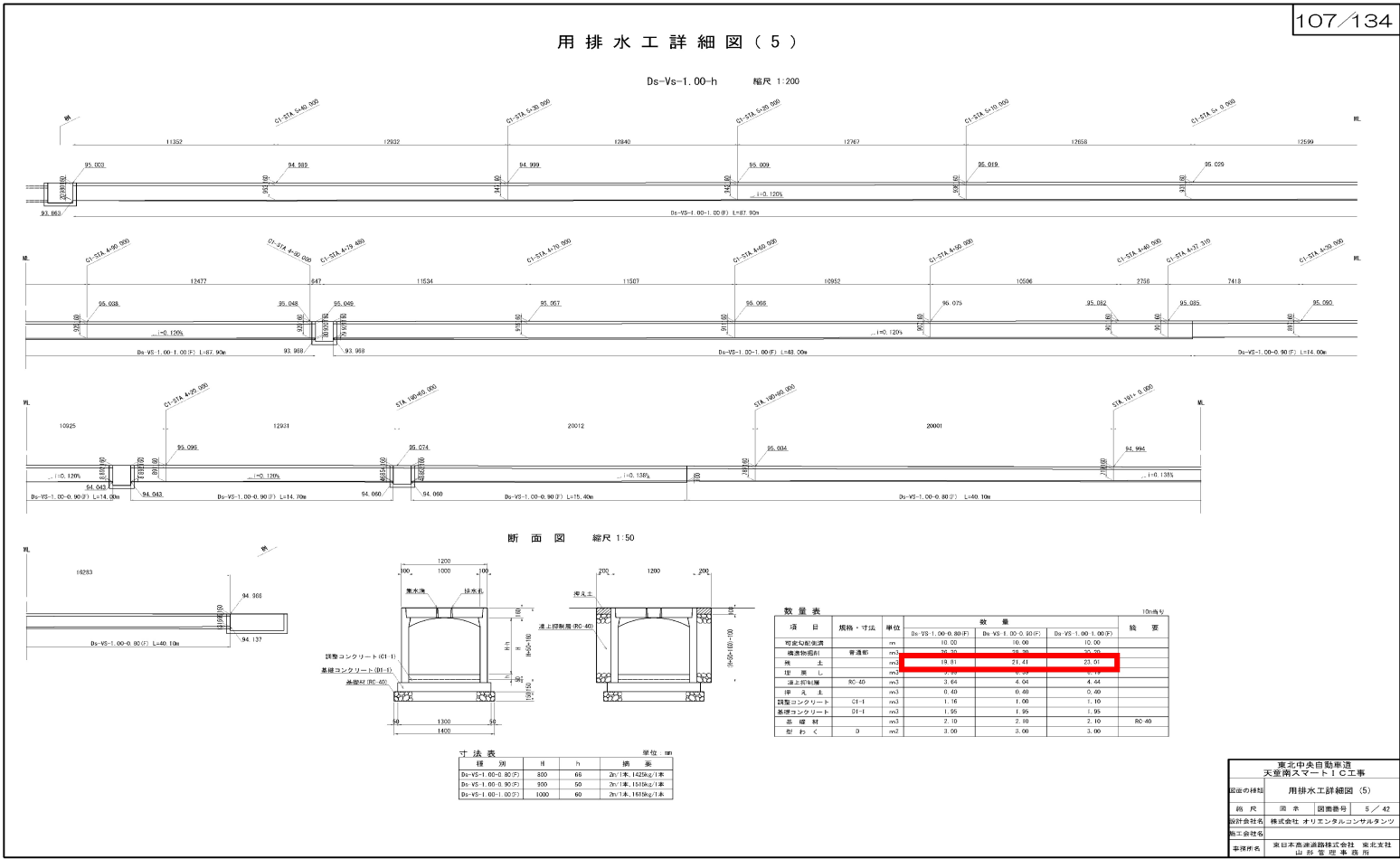
36

対象
設計図(土工)
107/134

誤

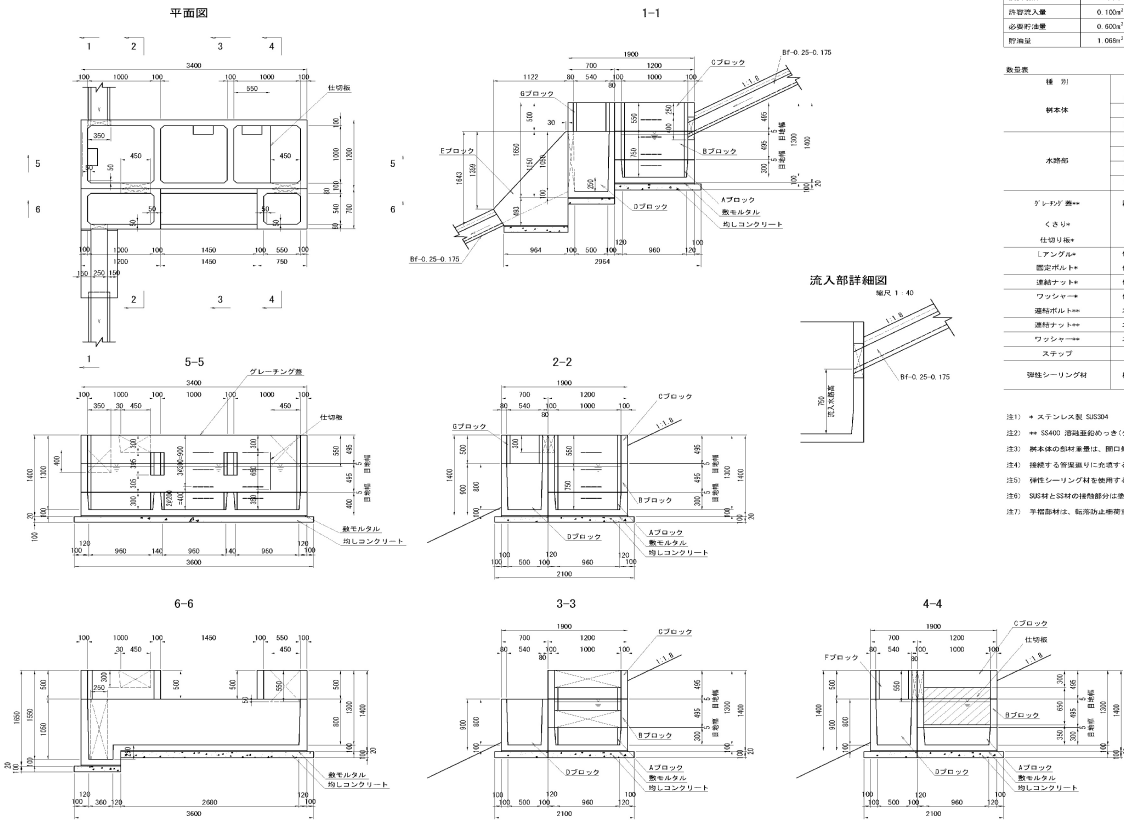


正



油水分離ます詳細図(1)

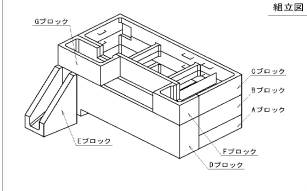
油水分離ます A
(のり面タイプ) 縮尺 1:40



設計条件	のり面
設置場所	のり面
設計流量	0.100m³/s以下
必要貯留量	0.500m³以上
貯留量	1.000m³

数量表	種別	材料	単位	数量	単位
本体	ブロック	Aブロック	個	1	1958 kg/個
		Bブロック	個	1	1775 kg/個
		Cブロック	個	1	1003 kg/個
		Dブロック	個	1	2078 kg/個
		Eブロック	個	1	1015 kg/個
水路部	ブロック	Fブロック	個	1	245 kg/個
		Gブロック	個	1	355 kg/個
その他	グレーティング	鋼板	枚	2	30.2 kg/枚
		鋼板	枚	2	29.2 kg/枚
	仕切り板	鋼板	枚	4	
		鋼板	枚	1	
	シアンダル	仕切り板	枚	2	
		仕切り板	枚	10	
	連結ナット	仕切り板	枚	4	
		仕切り板	枚	14	
	ワッシャー	仕切り板	枚	14	
		仕切り板	枚	24	
その他	ステン	鋼板	枚	12	
		鋼板	枚	24	
その他	ステン	鋼板	枚	12	
		鋼板	枚	24	
その他	ステン	鋼板	枚	12	
		鋼板	枚	24	

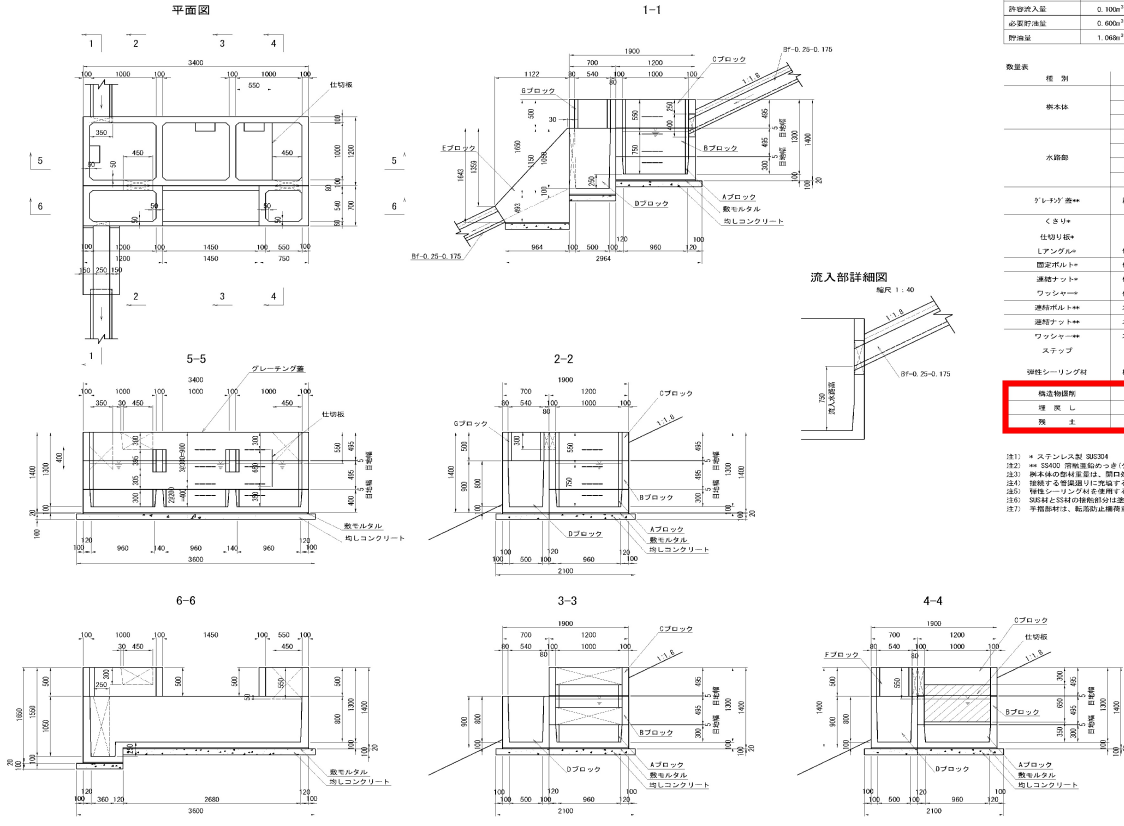
- 注1) * ステンレス製 SUS304
注2) ** SS400 溶接部用 (グレーティング部: SS400, 他: SS400)
注3) 鋼板の厚みは、開口部より10mm以上厚くする必要があります。
注4) 鋼板の厚みは、開口部より10mm以上厚くする必要があります。
注5) 鋼板の厚みは、開口部より10mm以上厚くする必要があります。
注6) 鋼板の厚みは、開口部より10mm以上厚くする必要があります。
注7) 鋼板の厚みは、開口部より10mm以上厚くする必要があります。



東北中央自動車道 天童南スマートIC工事			
図面の種類	油水分離ます詳細図(1)		
縮尺	図示	図面番号	24 / 42
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
承認者名	東日本高速道路株式会社 東北支社 山形管営課 事務所		

油水分離ます詳細図(1)

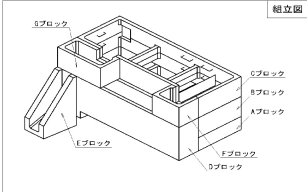
油水分離ます A
(のり面タイプ) 縮尺 1:40



設計条件	のり面
設置場所	のり面
設計流量	0.100m³/s以下
必要貯留量	0.500m³以上
貯留量	1.000m³

数量表	種別	材料	単位	数量	単位
本体	ブロック	Aブロック	個	1	1958 kg/個
		Bブロック	個	1	1775 kg/個
		Cブロック	個	1	1003 kg/個
		Dブロック	個	1	2078 kg/個
		Eブロック	個	1	1015 kg/個
水路部	ブロック	Fブロック	個	1	245 kg/個
		Gブロック	個	1	355 kg/個
その他	グレーティング	鋼板	枚	2	30.2 kg/枚
		鋼板	枚	2	29.2 kg/枚
	仕切り板	鋼板	枚	4	
		鋼板	枚	1	
	シアンダル	仕切り板	枚	2	
		仕切り板	枚	10	
	連結ナット	仕切り板	枚	4	
		仕切り板	枚	14	
	ワッシャー	仕切り板	枚	14	
		仕切り板	枚	24	
その他	ステン	鋼板	枚	12	
		鋼板	枚	24	
その他	ステン	鋼板	枚	12	
		鋼板	枚	24	
その他	ステン	鋼板	枚	12	
		鋼板	枚	24	

- 注1) * ステンレス製 SUS304
注2) ** SS400 溶接部用 (グレーティング部: SS400, 他: SS400)
注3) 鋼板の厚みは、開口部より10mm以上厚くする必要があります。
注4) 鋼板の厚みは、開口部より10mm以上厚くする必要があります。
注5) 鋼板の厚みは、開口部より10mm以上厚くする必要があります。
注6) 鋼板の厚みは、開口部より10mm以上厚くする必要があります。
注7) 鋼板の厚みは、開口部より10mm以上厚く必要があります。

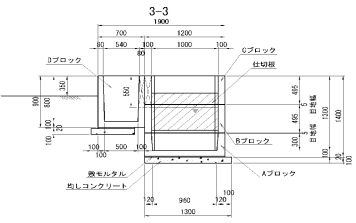
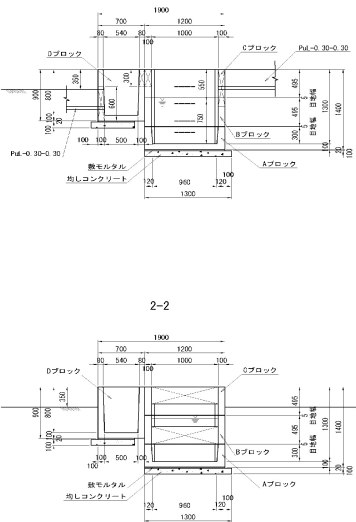
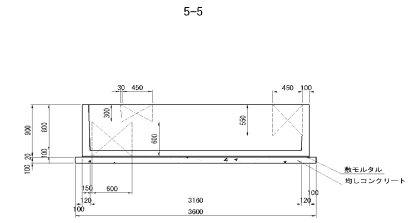
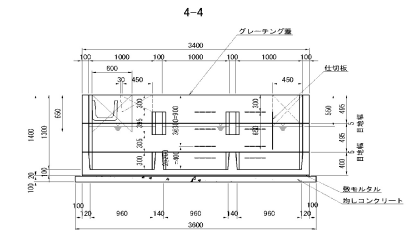
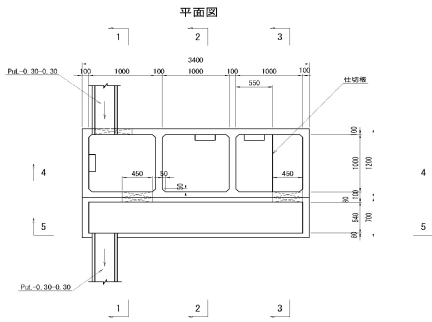


東北中央自動車道 天童南スマートIC工事			
図面の種類	油水分離ます詳細図(1)		
縮尺	図示	図面番号	24 / 42
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
承認者名	東日本高速道路株式会社 東北支社 山形管理事務所		

油水分離ます詳細図 (3)

油水分離ます B 縮尺 1:60
(平地色イゴ)

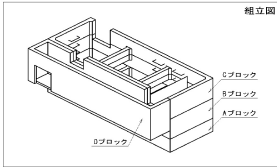
1-1



設計条件	
設置場所	平地
貯容流入量	0.100m ³ /s以下
必要貯油量	0.600m ³ 以上
貯油量	1.068m ³

品名表	品名	規格	単位	数量	単位
緑 銅	緑銅	1200×3400×400	個	1	1090 kg/個
鋼本材	ビロコック	1200×3400×400	個	1	1168 kg/個
	ゴブコック	1200×3400×400	個	1	1090 kg/個
水垢類	ゴブコック	1000×3400×400	個	1	1900 kg/個
ブルーゲル [※]	鉄骨用ブルーゲル	1000×72425 (標準用)	板	2	30.2 kg/板
		1000×72425 (非標準用)	板	2	29.2 kg/板
くさり*	鋼板定厚	φ5 1.1~1.0	個	4	
仕切り板*	S25	300×120×600	枚	1	
LAアングル*	仕切り定厚	S25 300×120×600	本	2	
固定板*ト	仕切り用	S25 80	本	10	
仕切り板*ト	仕切り用	S25 80	本	14	
ワッシャー	仕切り定厚	S25 80用板	枚	14	
連結ボルト*	本体連結用	M12 本	20		
連結ナット*	本体連結用	M12 本	20		
ワッシャー	本体連結用	M12 本	40		
スリッパ	鉄骨用	幅200	個	12	
特殊シーリング材	樹脂接着剤	1成分硬化型シリコン系 弾性シーリング材	l	1.0	

- (注1) ● ステンレス製 SUS304
- (注2) ** S8400 溶接玉粉めっき(グレーチング画: H0255、他の鋼材: H0235)
- (注3) 鋼本体の部材重量は、開口処理により上記より軽くなる部材もあります。
- (注4) 接続する管周りに充填するセメント、強性シーリング材は別添計上とします。
- (注5) 強性シーリング材を使用する車道には、プライマーを塗布する。
- (注6) S5材とS5材の接触部分は建築用ゴムを用いて接触部分の直食防止を行うこととする。

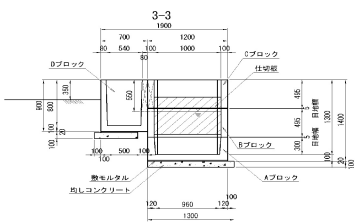
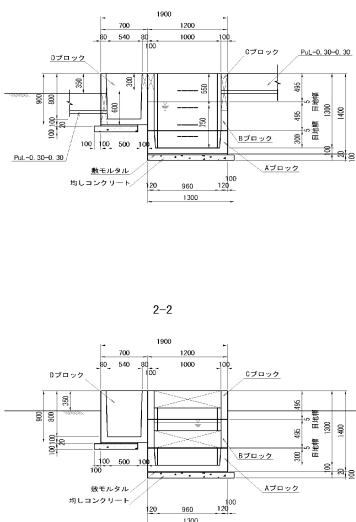
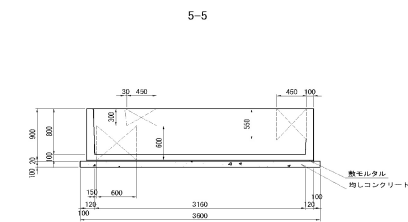
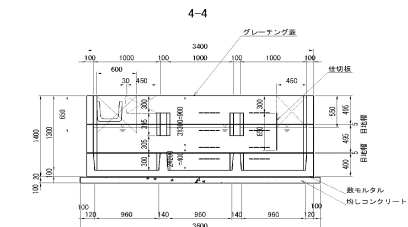
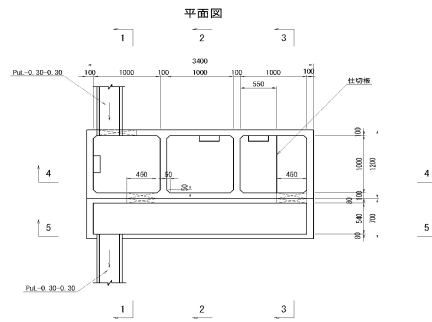


東北中央自動車道 天童南スマートIC工事			
道路の名称	油水分離ます詳細図(3)		
施 代	区 市	国道番号	26 / 42
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 山形管理事務所		

油水分離ます詳細図(3)

油水分離ます B 縮尺 1:9
(要地裁 1 冊)

1-



設置場所	平地
許容流入量	0.100m ³ /s以下
必要貯流量	0.600m ³ 以上
貯流量	1.063m ³

機 種	機 型	原 価	単位	数量	備 考
	A7000	1200/3400x450	巻	1	1968 ヶ/巻
結束機	B7000	1200/3400x450	巻	1	1166 ヶ/巻
	C7000	1200/3400x495	巻	1	1090 ヶ/巻
本締め	D7000	1000/3400x500	巻	1	1000 ヶ/巻
ノード付(※)→	野島専用用	700X7/225 (標準用)	枚	2	35.2 ヶ/枚
		(小間用)	枚	2	29.7 ヶ/枚
タビタ→	高圧定規	dφ 1-1.0mm	柄	4	
タビタリフ→	SUS 9Hx3.0	dø150	枚	1	
ラジエール→	セ切固定定規	SUS 30x100x450	本	2	
山崎のヤシロ→	セ切固定定規	SUS 30x100x450	本	10	
遊動ナット→	セ切固定定規	SUS 30x100x450	本	10	
ワッシャー→	セ切固定定規	SBS 30x100x450	枚	14	
遊動ボルト→	本体遊動用	M12	本	20	
遊動ナット→	本体遊動用	M12等	本	20	
ワッシャー→	本体遊動用	M12等	枚	40	
スプリング	鋼製部	φ6mm	径	12	
別注レジンゲル材	樹脂製の部	1辺が有線長でシリコン系 硬質レジンゲル	1	1.0	

機油部別	普通部
機 炭 土	
機 炭 土	

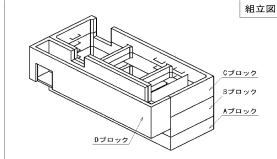
注1) ** S5400 海陸集約めっきグレーチング型番：HD255、他の部材：HD235

注2) 鉄板部の部材重量は、開口幅端に上り取より軽くなる部材もあります。

注3) 鉄板を普通鋼製に代える場合は、弾性シーリング材は別途計上とします。

注4) 弾性シーリング材を使用する場合には、プライマーを塗布する。

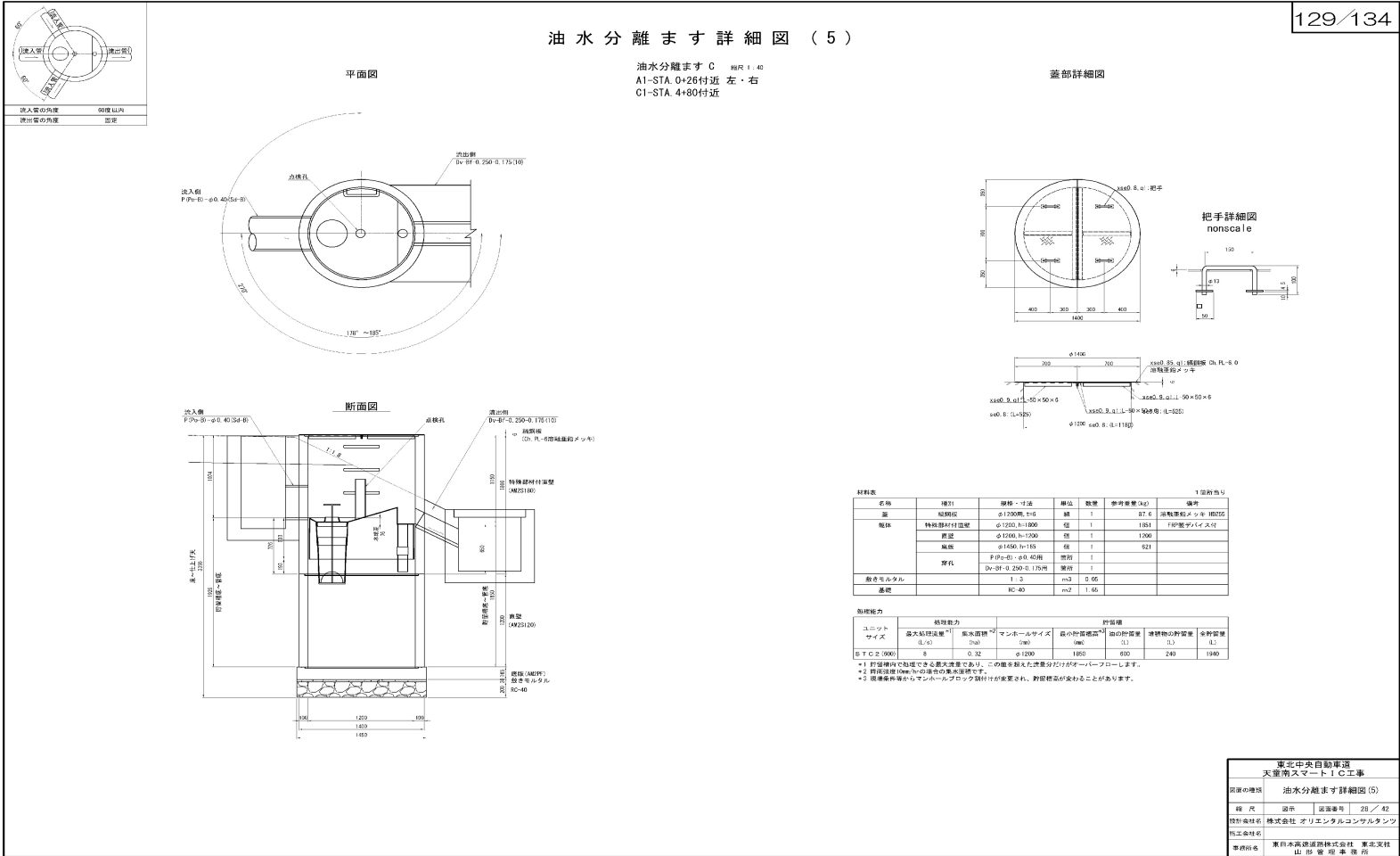
注5) S54材とS54材の接合部には塗薬やゴムを用いて接合部部分の腐食防止を行うこととする。



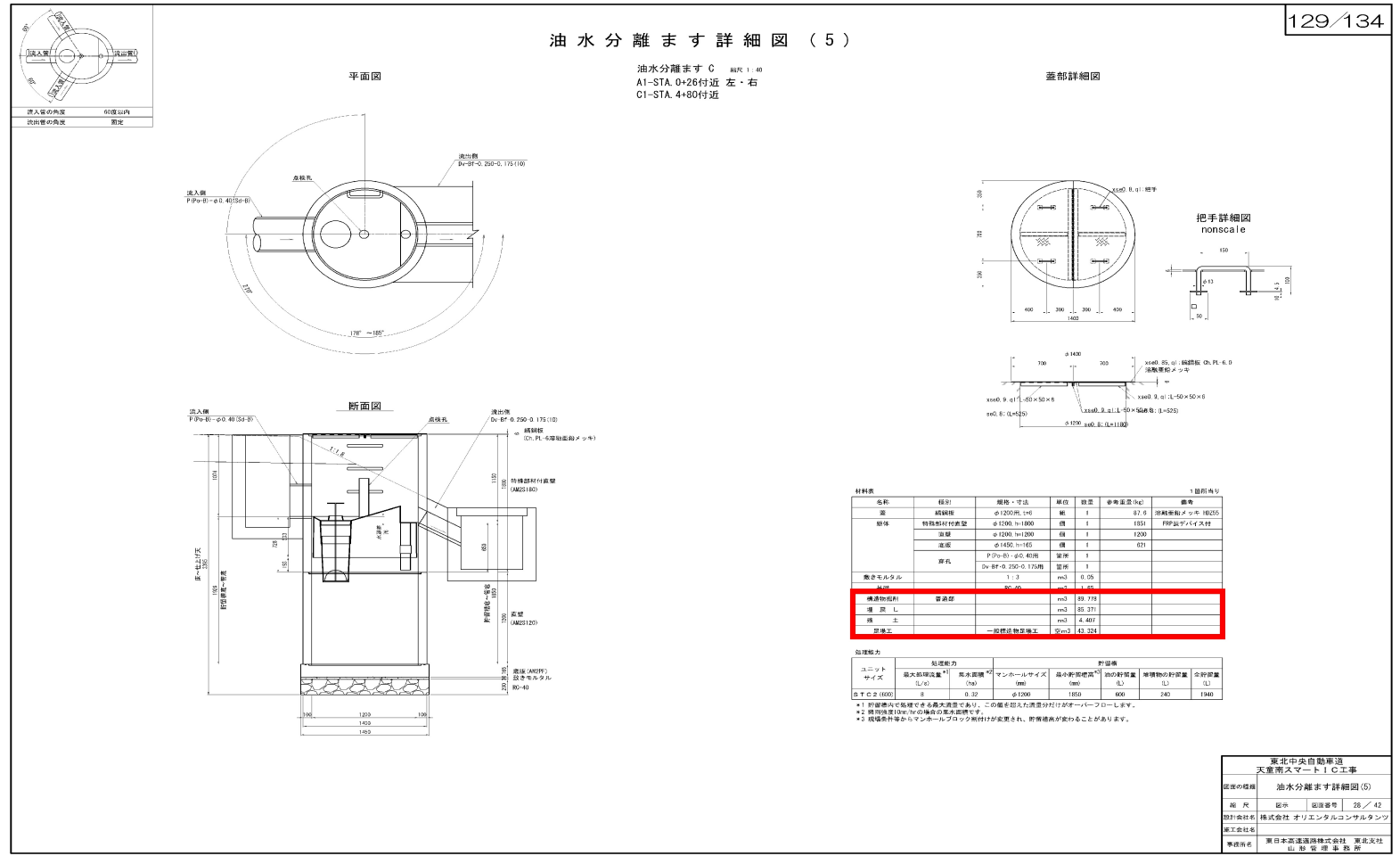
東北中央自動車道 天童南スマートIC工事			
国道の種別	油水分離ます詳細図(3)		
幅 尺	国 道	区画番号	26 / 42
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 山形管営課 建設課		

対象
設計図(土工)
129/134

誤

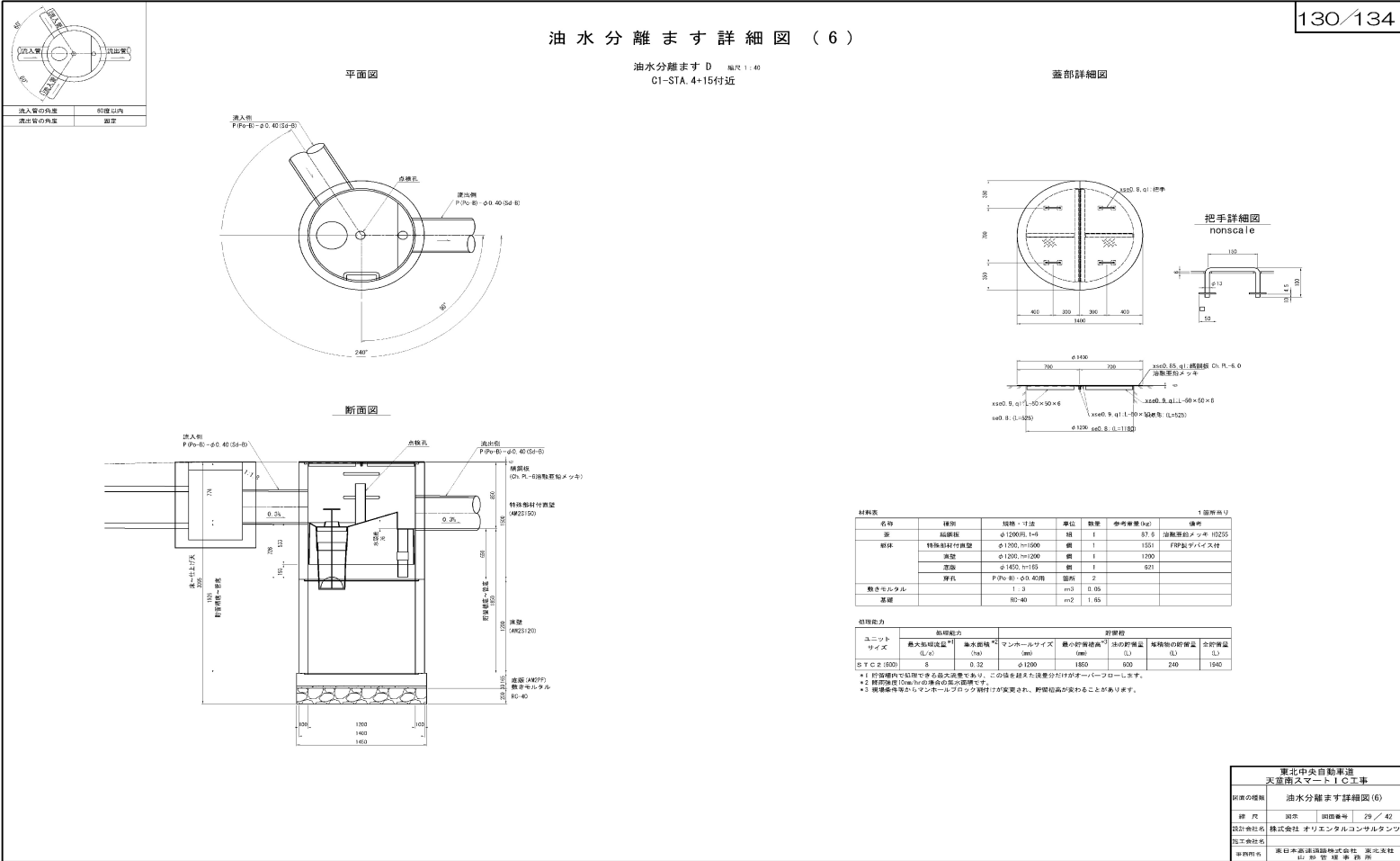


正

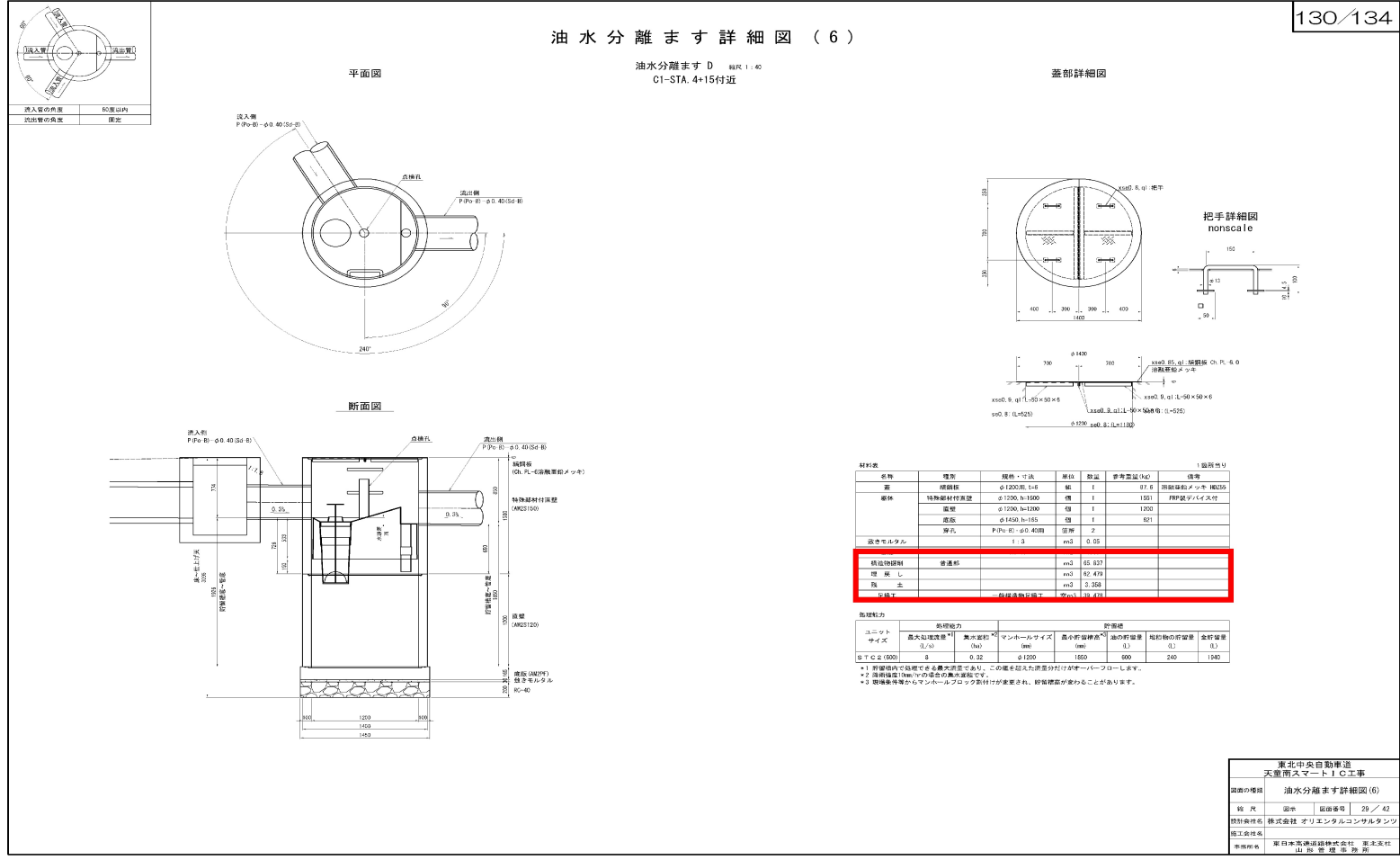


対象
設計図(土工)
130/134

誤

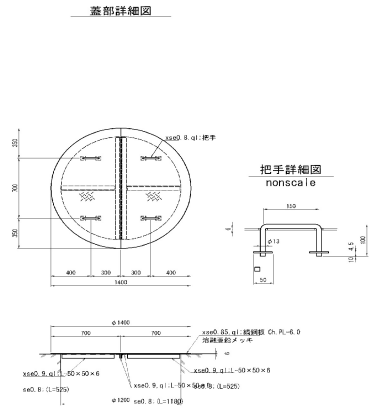
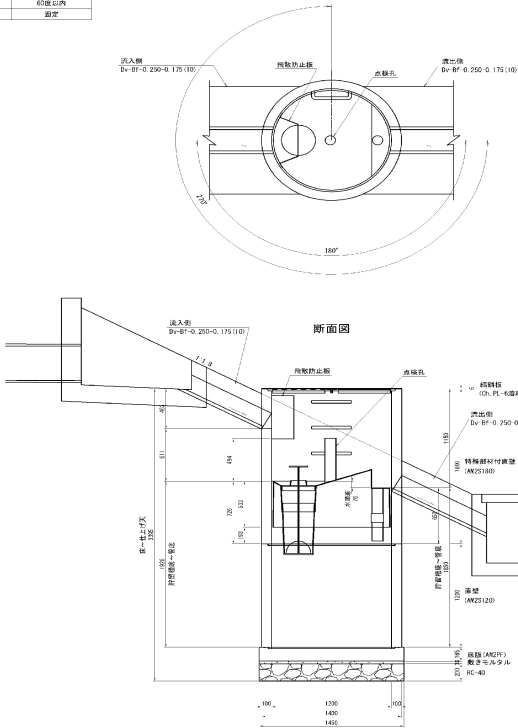


正



油水分離ます詳細図 (7)

油水分離ます E 縮尺 1:40
A1-STA. 1+ 8付近



材料表		1 鋼骨部				
名称	型式	規格・寸法	単位	数量	参考重量 (kg)	備考
鉄骨	鋼管柱	φ1200mm, t=6	部	1	87.6	摩擦接合メッキ H2D75
基礎	特殊鋼管付基礎	φ1200, t=1000	部	1	1851	FAP鋼管デバイス付
	基礎	φ1200, t=1000	部	1	1200	
	基礎	φ1450, t=145	部	1	621	
	鋼管埋込止	1000×600, L=600	部	1		埋込鋼管付 (φ=475×6)
敷きモルタル	穿孔	D=81・φ.250・φ.175用	箇所	2		
		1 : 3	m ³	0.05		
	基礎	HC-40	m ²	2	1.65	

処理能力		貯留能力					
ユニット サイズ	処理能力		貯留能力				
	最大処理流量 ^{a)} (L/s)	最大水深 ^{a)} (mm)	マンホールサイズ (mm)	最小貯留槽高 ^{b)} (mm)	油の貯留量 (L)	堆積物の貯留量 (L)	全貯留量 (L)
STC 8 (60B)	8	0.32	φ1200	1650	600	240	1940

- *1 貯留域内で処理できる最大流量であり、この値を超えた流量分だけがオーバーフローします。
- *2 降雨強度10mm/hrの場合の排水面積です。
- *3 現場条件等からマンホールブロック型付けが変更され、貯留構造が変わることがあります。

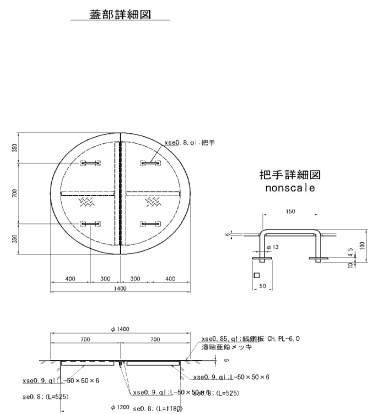
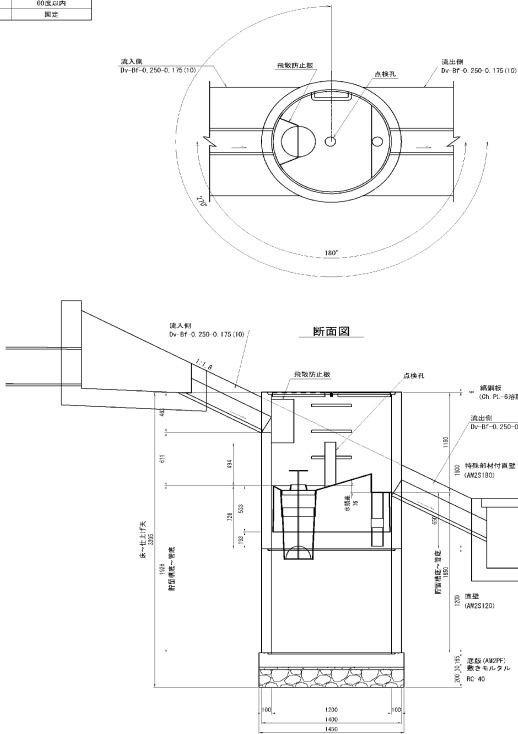
*3 取扱条件等からマニュアルブロック割付けが変更され、貯留標高が変わることがあります。

*3 現場条件等からマンホールブロック割付けが変更され、貯留容量が変わることがあります。

東北中央自動車道 天童南スマートIC工事			
国名の略称	油水分離ます詳細図(7)		
縮尺	国率	図面番号	30 / 42
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 山形管理事務所		

油水分離ます詳細図(7)

油水分離ます E 施設 1:40
A1-STA. 1+ 8付近



新製品						1 期出荷月
名称	種別	規格・寸法	単位	数量	参考重量(kg)	備考
窓	窓用巻	φ1200用140	組	1	87.6	両面テープメッキ #B35
本体	特殊樹脂付型窓	φ1200用A102	組	1	136.1	両面テープメッキ
	窓型	φ1200用B120	個	1	1200	両面テープメッキ
	底板	φ1450用A185	1	1	821	
	底板付の板	700A用A1800	個	1		両面テープ付1400用A1800
	罩具	Bφ120-φ250-φ170用	罩具	2	0.7	
脱ぎ足モデル		1-3	組	2	2.56	
		φ1200用	組	2	2.56	
機体部品	機体部品		mm	17	25.39	
機体 加工			mm	12	8.83	
機体 加工			mm	8	4.96	
機体 加工		機体部品加工	mm	4	4.34	

ユニット サイズ	居住能力		貯留槽				
	最大居住人数 ^{※1} (人/区)	集水面積 ^{※2} (ha)	マンホールサイズ (mm)	最小貯留容量 ^{※3} (mm)	油の貯留量 (L)	雑物の貯留量 (L)	全貯留量 (L)
5 T C 2 (603)	8	0.32	φ1200	1856	600	240	1940

※ 1 貯留槽内で乾燥できる最大流量であり、この値を超えた流量分だけがオーバーフローします。
※ 2 降雨強度10mm/hrの場合の排水面積です。

*2 昇降速度10mm/revの場合の裏面面積です。

東北中央自動車道 天童南スマートIC工事		
計画の種類	油水分離ます詳細図(7)	
縮尺	図示	図面番号 30 / 42
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ	
監工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 山形管理事務所	

